

第11回

家族防災会議のすすめ

家族防災会議が「二次的災害」を防ぎます

災害が発生したときの問題の一つに、家族を探して被災してしまう「二次的災害」があります。これを防ぐためには、定期的に家族で防災について話し合い、あらかじめ必要なことを決めておくことが大切です。家族が離ればなれになる場合を考え、連絡先や連絡方法、連絡がとれないときの対応を確認しておきましょう。

災害はいつ起こるか、どの程度の被害が出るか分かりません。予定していた避難場所や避難経路が使えない場合にも備えて、第2案・第3案を考えておくことも大事です。家族で地図を見ながら話してみると、「今この道は工事中で通れない」「大雨のとき、側溝が見えないから気を付

けた方がよい」といった発見があるものです。地震や大雨など、それぞれの災害ごとに、屋外に避難するか、家の中に留まるのか、その場合に安全な場所はどこか、といったことを確認しておきましょう。また、避難するときに持ち出すものも定期的に点検しましょう。その他、電気・ガスの元栓の締め方を再確認したり、備蓄食料の点検や試食をしたりするのも良いでしょう。

防災ガイドブック・防災マップを ご活用ください

市では、防災ガイドブックと防災マップを作成し、広報いるま12月15日号と同時に各世帯へ配布しました。この資料には、避難場所の情報や、地震の想定震度、過去の水害報告の状況、土砂災害警戒区域などの注意すべき情報が載っています。また、備蓄品や災害情報の収集方法、「災害用伝言ダイヤル（171）」を使った安否確認方法なども掲載しています。ちなみに「災害用伝言ダイヤル（171）」は、1月1日（月・祝）～3日（水）と、1月15日（月）～21日（日）の9時～17時に、体験利用ができませんのでお試しください。

1月は、お正月など家族や親せきが集まりやすい時期です。ぜひこの機会に防災について話し合い、何かあった時の行動を確認しておきましょう。